

サンティアゴ・デ・コンポステーラの旅

ファミニアラガオ・フェルディナール神父



サンティアゴ大聖堂

私は故郷フィリピンの聖ヤコブ大聖堂で洗礼を受けました。ですから、「2018年5月22日～31日、ルルド(フランス)、ファチマ(ポルトガル)、サンティアゴ(スペイン)巡礼の旅の指導司祭を引き受けていただけませんか」という依頼を受けた時、私はすぐに引き受けました。

今回、「オアシス」誌から、「サンティアゴ・デ・コンポステーラへの旅について書いてください」とのご要望があり、この旅の中の「サンティアゴ巡礼」についてだけ書くことにいたしました。

私にとって、サンティアゴ巡礼は初めてでしたが、既にこの巡礼をしているたくさんの人々から、とてもすばらしい話を聞いていたので、大変楽しみにしていました。しかし、同時に私は、日本人とフィリピン人からなる巡礼団を引率していくことで緊張もしていました。と言うのも、おそらく皆さんの方が私よりずっと信心深い人々かもしれませんから……。

バスでサンティアゴに到着し、私たちはすぐ、サンティアゴ大聖堂に行きました。大聖堂の正面には、すべての巡礼者にとってシンボルであるホタテ貝が飾られています。そこを入るとすぐに、「栄光の門」があります。巡礼者たちはこの栄光の門から、聖ヤコブにささげられた大聖堂に入って行きました。私たちは、大聖堂の広い通路を通過して、中央祭壇へと進み、裏手に回り込み、大祭壇上の聖ヤコブ像に近づき、その聖像を抱きしめました。そこから、私たちは聖ヤコブのお墓と彼の二人の弟子である聖テオドーロと聖アタナシオのお墓に詣でるために地下に降りていきました。

大聖堂の美しさと荘厳さを味わい、賛美しながら、私は、長い旅の終わりを表しているこのシンボルを前にして、私はバスでやって来たにもかかわらず、ここまでの長い旅を徒歩で巡礼して来た人々と同じように、大聖堂に到着する旅の素晴らしさ、巡礼の旅をしたという大きな喜びを感じていました。

ここでの有名なボタフメイロ(香炉振り)は、とても感動的な経験でした。この巨大な香炉振りは、私たちに非常に力強いあることを理解させてくれました。それは、私は、香炉の揺れを見、それが、聖堂のドームの中を行き来する様を見て、この香炉が大聖堂全体を浄化すると同時に、私たちをも浄化しているのだと感じたことでした。香炉の揺れがゆっくりとなるにつれて、私は我にかえり、新たな旅を始める用意ができていました。

サンティアゴ・デ・コンポステーラ大聖堂は、今日の美しい建造物にするために一つずつ石を積み上げることによって建てられました。私は、この旅を終えるにあたり、一歩ずつの巡礼の旅で、大聖堂の中で平和を見いだしたのと同様、私自身もまた、心と魂の中に平和を見いだす美しい場所を一つずつ作っていくことができたのでした。